

北大総合博物館主催

土曜市民セミナー

北大の研究最前線

道民カレッジ連携講座



森林の変遷—昭和新高山で語る—

2019

1/12 土

13:30 ~ 15:00

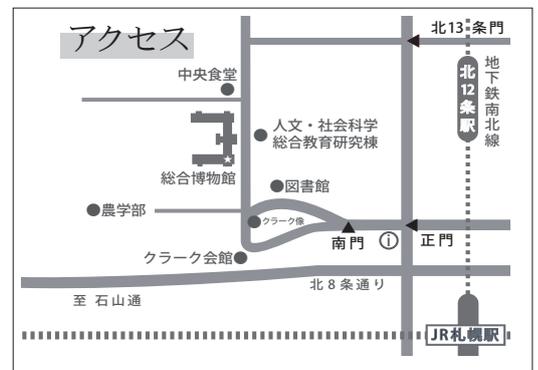
講師 春木 雅寛

北海道大学総合博物館 資料部

入場無料・申込不要

会場

北海道大学総合博物館 1階
「知の交流」



お問合せ



TEL : 011-706-2658

<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>

昭和新高山(407m)は生成して73年が経ちました。大噴火や天然記念物となったドーム上昇などで昭和20年(1945年)に写真のように出来上がりました。火山灰や軽石などテフラの上を、女性が頂上直下30mまで登れたのはどうしてでしょうか?

三松正夫氏や伊達高校の先生だった小松浩一氏の記録にあるように、当初から、地温の下がったテフラ上に直にタネが定着して木は育ち、風力散布種の多い樹林が形成されはじめました。今はドロノキ林の中にミズナラやホオノキが目立ちます。そのような、あまり知られていない森林の成り立ちや推移をお話したいと思います。